

クリストファー・聡・ギブソン チェロ独奏会 @徳の蔵

～父と子で織り成す美しきタピストリ～



街に被せ綿の和菓子も見られ、重陽の節句の頃となりましたが、まだまだ残暑厳しき折、来たる10月26日、5回目となるクリストファー・聡・ギブソン氏の無伴奏チェロ演奏会のご案内を申し上げます。

今回のテーマは、"父と子" ...。

ローマカソリック本国のイタリア映画の中、核となり、一貫して流れているものです。

今回は、そんな美しいイタリア映画音楽を始め、ギブソン氏のご尊父様の詩に、徳山先生が作曲なさった曲の初お披露目、また子沢山だった父であるバッハの、ギブソン氏が大切に弾き続ける無伴奏チェロ組曲をお届け致します。

古い木の蔵全体がチェロと融け合う、徳の蔵ならではの演奏会のあとは、演奏者との懇親会もご堪能いただけます。

秋深まる宵に是非、皆様お繰り合わせの上、ご来場賜れますよう謹んでご案内申し上げます。

日時 2019.10.26 (土)

開場1730

開演1800

場所 ギャラリー徳の蔵

会費3500円

(懇親会のお料理、飲み物、甘味含む)

定員 35名

プログラム (予定)

1. バッハ: 無伴奏チェロ組曲より 一曲
2. モリコーネ: 「ニューシネマパラダイス」より
3. ピアソラ: アディオス ノニーノ
4. アイルランド民謡: ダニーボーイ

5. 「モーガン・ギブソンの五つの詩に寄せる音楽」
詩: モーガン・ギブソン
作曲: 徳山 美奈子
朗読・演奏: クリストファー・聡・ギブソン
(クリストファー・ギブソン委嘱作品 世界初演)

6. バッハ: 無伴奏チェロ組曲第6番 ニ長調 BWV1012

プロフィール

Christopher So Gibson, cello クリストファー・聡・ギブソン (チェロ)

アメリカ・ミシガン州生まれ。4才よりチェロを始める。高校在学中に Tanglewood, Indiana University, Interlochen の夏期プログラムに参加。横浜インターナショナルスクール卒業後、2005年に米イェール大学に進学、哲学・政治学を二重専攻。

在学中、チェリストAldo Parisot氏とのオーディションに合格し、Pierre Fournier氏の最若年の弟子であり、Janos Starker氏の助手も長年勤めたイェール音楽院のOle Akahoshi氏にチェロを師事する。また、同音楽院のWendy Sharp氏に室内楽を師事する。2009年、同大学FOMコンクールにて入賞。2012年冬、国際演奏家協会新人オーディションにてバッハ無伴奏バイオリンパルティータ第2番の演奏で入賞した際、審査員の一人であるバイオリニスト川島成道氏から「曲の世界に入り込むことの出来る演奏」という賛辞を受ける。

2017年にはNPO法人Emotion in Motion主催のもと、「BACH Solo」無伴奏チェロリサイタルシリーズをみなとみらい小ホール、ティアラ江東、所沢ミューズ、サントリーホール「ブルーローズ」にて開催。チェリストとして東京、鎌倉、長野などを中心に活躍中。

ギャラリー 徳の蔵

<http://www.tokunokura.tokyo/index.html>